

平成30年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月6日

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所 東
 コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第3四半期の連結業績 (平成29年9月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第3四半期	1,627	△3.0	60	—	60	—	21	△51.3
29年8月期第3四半期	1,676	13.9	△23	—	△29	—	45	—

(注) 包括利益 30年8月期第3四半期 21百万円(△56.6%) 29年8月期第3四半期 48百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第3四半期	2.12	2.12
29年8月期第3四半期	4.20	4.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第3四半期	2,842	1,409	49.1
29年8月期	3,178	1,490	46.5

(参考) 自己資本 30年8月期第3四半期 1,396百万円 29年8月期 1,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年8月期	—	0.00	—	—	—
30年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の連結業績予想 (平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,350	4.4	70	—	60	—	15	—	1.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

これらの数値は、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年8月期3Q	11,300,000株	29年8月期	11,300,000株
② 期末自己株式数	30年8月期3Q	1,080,876株	29年8月期	880,876株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年8月期3Q	10,321,688株	29年8月期3Q	10,733,459株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

本決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表に対する監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等に関しては、添付資料「1. 経営成績・財務状態に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府・日銀による経済政策及び金融政策により、雇用環境の改善、消費者マインドの持ち直しが見られる等、総じて底堅い推移となりましたが、アメリカにおける外交政策や、東アジアにおける地政学リスクへの懸念により、依然として不安要素が存在しております。

このような事業環境の中、当社グループは、コンテンツ内容の向上や決済手段の多様化に注力すると同時に、各事業部におけるコストの見直しを積極的に行うことで、グループ全体における収益増を図ってまいりました。売上につきましては、占いコンテンツ事業を始め、メディア事業及びその他事業において前年同期比増となった一方、子会社ルイスファクトリーにおいて、第1四半期連結会計期間より、子会社の売上から手数料等を控除して計上していることや、新規運営移管タイトルが未獲得となったことが影響し、当社グループといたしましては、前年同期比減となりました。一方で利益面につきましては、管理部他、各事業において運営体制等の積極的な見直しによるコスト削減を行ったことにより、前年同期比増で着地しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,627百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益60百万円(前年同期営業損失23百万円)、経常利益60百万円(前年同期経常損失29百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益21百万円(前年同期比51.3%減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① 占いコンテンツ事業

当社では占いコンテンツ事業を、ISP、各移動体通信事業者、Apple や Google 等のプラットフォーム向けに占いコンテンツを企画・制作・配信するビジネスを中心に展開する占いコンテンツ事業、ユーザーと占い師を電話等で直接結び付ける、One to One Marketing 事業の二つに分けております。当第3四半期連結累計期間につきましては、決済手段の多様化を始めとするユーザビリティ向上に注力し、既存ユーザーのリテンション率を改善すると同時に、新規ユーザーの増加に努めてまいりました。これらの施策による売上への寄与は第4四半期連結会計期間となる見込みではありますが、One to One Marketing 事業が引き続き安定的に売上増加となったことや、占いコンテンツ事業の広告宣伝の妥当性について繰返し検討を行い、コスト効率を追及した結果、収益ともに増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における占いコンテンツ事業の売上高は1,328百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は397百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

② ゲームコンテンツ事業

当社グループのゲームコンテンツ事業は子会社「株式会社ブルークエスト」、「株式会社ルイスファクトリー」の2社でゲーム制作及び配信を行っており、ルイスファクトリーの主軸事業である国内セカンダリー事業を中心として事業を推進してまいりました。当第3四半期連結累計期間においては、第1四半期連結会計期間より売上から手数料等を控除して計上している他、新規の運営移管タイトルの獲得が叶わなかったことから、売上高減少となりましたが、ゲームコンテンツ事業全体としては黒字での着地となりました。なお、今後の当社グループにおいては、国内セカンダリー事業を中心とする予定であることから、ブルークエストに関しては、収益の効率化を勘案した結果、事業規模を縮小しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるゲームコンテンツ事業の売上高は252百万円(前年同期比31.9%減)、営業利益は19百万円(前年同期は営業損失85百万円)となりました。

③ メディア事業

メディア事業においては、自社メディアサイト「カナウ」「yummy!」の運営を行っております。当社の強みである豊富な古いコンテンツの無償提供等が奏功し、「カナウ」においては、1月に損益分岐点を通過して以降、順調に収益を伸ばしました。一方で、「カナウ」「yummy!」以外の新規サービス開発を積極的に推進していることから、メディア事業としての利益面においては、営業損失を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるメディア事業の売上高は41百万円、営業損失は16百万円となりました。今後は引き続き、ページ数の増加、サイトの構成の見直しやアクセシビリティの向上によりユーザー回遊率を高め、1サイトあたりの価値向上を図るほか、新たなコンテンツやサービスを投入することにより、収益の増加に努めてまいります。なお、メディア事業は第1四半期連結会計期間より報告セグメントといたしましたので、前年同期比は行っておりません。

④ その他

海外新規事業におきましては、B to B を中心としたVR機器の販売や、VRコンテンツプラットフォームへの配信コンテンツの獲得など、引き続き提携先である中国企業とのVR事業（注）を推進するほか、eコマース事業及び中国本土における日本IP事業の展開に注力してまいりました。VR機器の販売及び受注案件の獲得により増収となったものの、事業拡大に向けた人員増に加え、eコマース、IP事業の売上への寄与は来期を見込んでいることから、当第3四半期連結累計期間においては先行投資が膨らみ、増収減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は4百万円（前年同期比126.8%増）、営業損失は65百万円（前年同期は営業損失24百万円）となりました。

（注）本決算短信提出日現在、当社VR事業に関して以下の企業と事業提携を行っております。

①小派科技(上海)有限責任公司

（英語名：Pimax Technology Co., Ltd、本社：上海、代表取締役：翁 志彬）

同社が開発・製造しているVRヘッドマウントディスプレイ「PIMAX」シリーズの日本における販売総代理店業務並びに ECサイト（ネットを使用した物品及びサービスの販売サイト）における専売に関する業務提携契約を締結。

②北京凌宇智控科技有限公司

（英語名LYRobotix Co., Ltd、本社：中国北京市海淀区、代表取締役：張道寧）

同社が開発・製造しているVRコントローラー端末「NOLO」の日本における販売総代理権、および同社が運営するVRコンテンツプラットフォーム「NOLO HOME」の、日本におけるプラットフォーム運営権に関する業務提携契約を締結。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,842百万円であり、前連結会計年度末と比較して335百万円減少しております。これは主に、現金及び預金312百万円の減少によるものであります。負債合計は1,433百万円であり、前連結会計年度末と比較して255百万円減少しております。これは主に、1年内返済予定の長期借入金102百万円の減少及び長期借入金110百万円の減少によるものであります。純資産合計は1,409百万円であり、前連結会計年度末と比較して80百万円減少しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年1月12日の「平成30年8月期 第1四半期決算短信」に記載のとおりであります。これらの数値は、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。従って、事業の進捗に大きな遅れや変更があった場合や、当社事業が進出する海外諸国において法令が改正されあるいは情勢が変化した場合、変動する可能性があります。また、第1四半期連結会計期間より、事業の実態に即した売上高営業利益率を表すよう、子会社ルイスファクトリーにおける売上高を、各プラットフォームへ支払う手数料等を控除して計上しております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,226,553	1,914,195
売掛金	390,290	365,128
商品	—	930
仕掛品	15,593	14,324
貯蔵品	1,406	994
その他	73,564	61,029
貸倒引当金	△2,807	△2,617
流動資産合計	2,704,600	2,353,985
固定資産		
有形固定資産	22,344	27,565
無形固定資産		
のれん	50,418	40,965
その他	111,534	142,475
無形固定資産合計	161,952	183,440
投資その他の資産		
投資有価証券	66,172	65,142
敷金及び保証金	90,896	98,736
その他	162,023	143,159
貸倒引当金	△29,439	△29,439
投資その他の資産合計	289,652	277,599
固定資産合計	473,950	488,605
資産合計	3,178,550	2,842,590
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,255	61,386
1年内返済予定の長期借入金	631,567	528,893
未払費用	60,210	55,606
未払法人税等	4,206	20,264
未払消費税等	26,100	22,420
その他	123,680	67,669
流動負債合計	901,020	756,241
固定負債		
長期借入金	787,129	676,778
固定負債合計	787,129	676,778
負債合計	1,688,150	1,433,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	434,151	434,151
利益剰余金	941,935	963,859
自己株式	△352,194	△454,194
株主資本合計	1,475,353	1,395,276
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	△40
その他有価証券評価差額金	2,300	1,589
その他の包括利益累計額合計	2,300	1,548
新株予約権	12,746	12,746
純資産合計	1,490,400	1,409,571
負債純資産合計	3,178,550	2,842,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)
売上高	1,676,988	1,627,268
売上原価	994,188	769,273
売上総利益	682,799	857,995
販売費及び一般管理費	706,601	797,527
営業利益又は営業損失(△)	△23,801	60,468
営業外収益		
受取利息	118	55
為替差益	189	4,126
未払配当金除斥益	—	1,752
その他	516	323
営業外収益合計	824	6,257
営業外費用		
支払利息	5,637	5,689
その他	685	766
営業外費用合計	6,322	6,455
経常利益又は経常損失(△)	△29,300	60,269
特別利益		
受取和解金	3,981	—
固定資産売却益	69,671	—
関係会社株式売却益	28,376	—
その他	1,492	—
特別利益合計	103,522	—
特別損失		
のれん償却額	4,902	—
その他	391	—
特別損失合計	5,293	—
税金等調整前四半期純利益	68,928	60,269
法人税、住民税及び事業税	7,212	16,016
法人税等調整額	16,822	22,329
法人税等合計	24,034	38,346
四半期純利益	44,893	21,923
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△168	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,062	21,923

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	44,893	21,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,524	△711
為替換算調整勘定	—	△40
持分法適用会社に対する持分相当額	1,379	—
その他の包括利益合計	3,903	△752
四半期包括利益	48,797	21,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,965	21,171
非支配株主に係る四半期包括利益	△168	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	占いコン テンツ事 業	ゲームコ ンテンツ 事業	メディア 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,303,856	371,150	—	1,675,007	1,981	1,676,988	—	1,676,988
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,303,856	371,150	—	1,675,007	1,981	1,676,988	—	1,676,988
セグメント利益又は セグメント損失(△)	390,955	△85,889	—	305,066	△24,786	280,280	△304,082	△23,801

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、AI事業、VR事業などの新規事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△304,082千円には、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△306,332千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年9月1日至平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	古いコン テンツ事 業	ゲームコ ンテンツ 事業	メディア 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,328,707	252,717	41,350	1,622,776	4,492	1,627,268	—	1,627,268
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,328,707	252,717	41,350	1,622,776	4,492	1,627,268	—	1,627,268
セグメント利益又は セグメント損失(△)	397,066	19,031	△16,246	399,851	△65,107	334,744	△274,275	60,468

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、AI事業、VR事業などの新規事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△274,275千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△274,275千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結累計期間において、セグメント情報におけるセグメント区分は、「古いコンテンツ事業」及び「ゲームコンテンツ事業」に区分しておりましたが、平成29年6月より事業開始していたメディア事業に関し、事業計画上の重要性が増したことから、「メディア事業」として「古いコンテンツ事業」から区分しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しておりますが、メディア事業に関する記載すべき事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。